



ゆり地域支援だより

令和7年8月8日発行 第2号 秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

本校のセンター的機能の取組から

学校見学会 (5月29日、6月5日)

本校の教育に関心のある方や本校への入学、転入学を検討されている方を対象に、2日間にわたり学校見学会を実施しました。地域の学校、園から80名の方々に来校していただき、校内見学や授業参観の他、学部に分かれて具体的な内容(学習や行事)の紹介を行いました。各学部の様子や将来の自立につながる体験的な学習の様子などを参観していただくことができました。

本校では、就学に関する相談や進学先を検討されている方の教育相談、体験学習を随時受け付けています。お気軽にご活用ください。



時間帯や実施方法などのご要望に応じますのでご相談ください。

おすすめ

【特別支援学校体験研修】のご紹介

<特別支援学級や通常の学級の先生方、特別な支援を必要とする子どもの教育に携わる方を対象>

- ・特別支援学校の授業参観
- ・教室環境、教材の具体的な工夫の見学、体験
- ・授業づくり(指導計画の内容や手立て)についての研修等を行っています。

特別支援教育研修会【7月31日(木)オンライン研修会】から

演題「学校での見立てと『相談』」

講師：医療法人緑陽会 笠松病院副院長 笠松 昌平氏



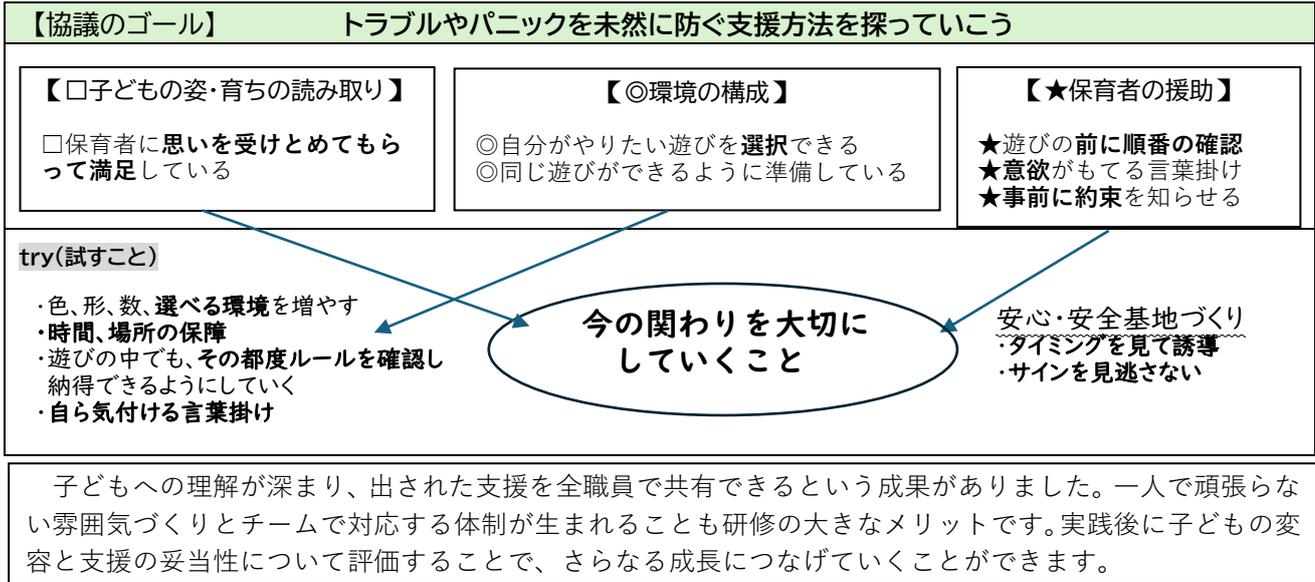
「子どもたちには、学校でも、職場でも、医療現場でも相談する場や時間が必要。相談の機会が増え、その相談の質が少しでも上がるのが大事。子どもたちに起こっていることを理解して支援するために、見立てが大切(どのように話を聞き、どんなことを考え、対応したらよいか)。さらに、大切なのは関わる大人同士の相談ではないだろうか。」という笠松先生の問題提起から、考え方や対応について、具体的なお話をいただきました。

見立て(アセスメント)とは何か：ある人を支援したり、指導したりするには、どんな問題が生じているかを分析することが不可欠である。【情報→理解・解釈・仮説→対応・方針】さらに、関係を作って情報を得る・仮説を立てる、多面的に評価・分析【バイオ、サイコ、ソーシャルモデル(生物学的要因・心理的要因・環境・社会的要因)】をして、学校以外での情報も基に、子どもを取り巻く全体像で把握することが大切である。

「相談」について：子どもたちは相談したいが、「(相談を)嫌がられたり、怒られたりするかも。分かってもらえない。解決しない。忙しそう。迷惑なのは。(大人を)信用できない。」等の理由で相談できないことの方が多い。大人も同じ。相談しやすい環境を整えていくことが大事である。そして子どもに関わる大人同士の相談が大切である。子どもたちには、家庭か教師、行政か病院等、相談できそうな大人を見つけてほしい。自傷・自殺願望がある人への対応として、TALKの原則【Tell:言葉に出して心配していることを伝える。Ask:死にたい気持ちについてはっきり尋ねる。Listen:話を聞く。説教、説得せず、理解することに努める。Keep Safe:安全を確保する。専門機関に援助を求める。】なんとかしたいというスタンスを見せることが大切である。 ~講演より(抜粋)~

子ども理解とよりよい支援を考える・・・園内研修の実際をご紹介します

園内研修として、ワークショップ型の研修を企画する園が増えています。子どもへのよりよい支援について全職員で話し合いをしたある園の取組をご紹介します。



自立活動コーナー **自立活動の視点を生かした指導のポイント**
～難聴理解研修会から～

聴覚支援学校の先生方に来ていただき、本校に在籍する難聴の児童生徒への指導・支援について学習しました。実際に難聴疑似体験をしたことで、学校生活での支援や配慮について具体的に考えることができました。コミュニケーションのポイントは、難聴の児童生徒に限らず、みんなに配慮していきたい内容でした。

難聴の疑似体験～聞こえにくい状況で

○子どもの困り感を体験して感じたこと

- ・不安、孤独、悲しい、面白くない
- ・母音と子音の聞き分けが難しい
- ・全く分からないのでついていけない
- ・周りから取り残されたかのような気持ち
- ・聞こえなくなるような感じがなくなる
- ・支援があると、聞こえる立場の人と一緒に楽しめる
- ・配慮して安心できるようにしたい

○学校の中で、どんな支援が考えられるか

- ・文字やイラスト、ジェスチャーなど視覚的な支援
- ・静かな環境を整える
- ・注目させる（話す前に声を掛ける）
- ・ICTを活用した文字起こし
- ・口形を見せる
- ・正面から話し掛ける

騒音の中で、音を遮って聞く体験をしました。

聞こえにくさの体験をしたことで、より具体的に考えることができました。

コミュニケーションのポイント

① 静かな環境で会話する。	② 話す前に、相手に注目を向ける。
③ 口元や表情が見えるようにする。	④ はっきりと、普通の速さで話す。
⑤ 大事なことは書いて伝える。	⑥ 分かったことは何かを確認する。

先生方のお悩みや疑問にお答えします。ご連絡、お待ちしております。

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

TEL : 0184-27-2631 | E-mail:yuri-s@akita-pref.ed.jp

